

サンフランシスコ平和条約が成立すると、すべての占領軍は日本から撤退することになっていました。



日本は憲法九条によって自前の軍隊を持つことができないため、たちまち安全保障上の危機に陥ることになります。



サンフランシスコ平和条約と同時に

日米安全保障条約 (日米安保条約)

を結んだ。

※ ただし この条約は 日本にとって 不平等な内容でした。

- アメリカは 日本を防衛する義務があるとは書かれていない。
 - アメリカ軍は日本のいかなる場所にも自由に基地を作ることができる
 - ↓ 朝鮮に近い日本に軍隊を置いて戦争に備えたい (アメリカの本音)
- 日本は独立後も アメリカの軍事基地が (沖繩) 県など、日本国内に残されることになった。
- 日本国内で内乱が起きた場合は、その鎮圧のためにアメリカ軍が出動できる

余談

まさにこの弱点をつくように、韓国初代大統領 李承晩^{リ しょうばん}が、日本海に勝手に国境線を引き、(竹島) を不法占拠しました。

竹島近海で操業中の日本漁船に対し、銃撃や拿捕をくり返すようになった。

だま → (軍艦などが他国の船舶を支配下におき占有すること)